

倶知安町立倶知安小学校

指定年度：H26～
児童数：247名

1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

児童は明るくのびのびしているが、根気強さや自主的な姿勢について課題がある。また、若い教職員が多いことから、校長の力量はもとより、個々の教職員の力量を高めるため、「校長のリーダーシップ」「協働体制」「コミュニケーション」「人材育成」に取り組んだ。

①校長のリーダーシップ

- 未来の社会づくり、まちづくりの視点で、「経営ビジョン」や「年度の重点」を子どもの姿で具体的に語り、取組の成果と課題の共有、検証改善に努めた。
- 「管理職の打合せ→校務調整会議→職員会議→教育活動→検証改善」という学校の意志決定過程を明確にするとともに、各分掌のトップに教頭がかかわりながら、役割と出番、責任を与えるなど、システム化を図った。

②協働体制

- 「教育活動の質の向上」を校長の方針として示し、教頭と主幹教諭に留意点を助言し、全教職員によるワークショップを行い、「働き方改革」を進め、その取組の成果と課題を共有しながら、検証改善の確立に努めた。

倶小「働き方改革」5つ星

- ★1 行事の見直しを今年度中に行います
- ★2 個人業務のタイムマネジメントに取り組みます
- ★3 情報の共有化を図り会議を減らします
- ★4 日常的な授業づくりを目指した研修を進めます
- ★5 週に1回は18時までには帰ります(月1回の定時退勤の徹底)



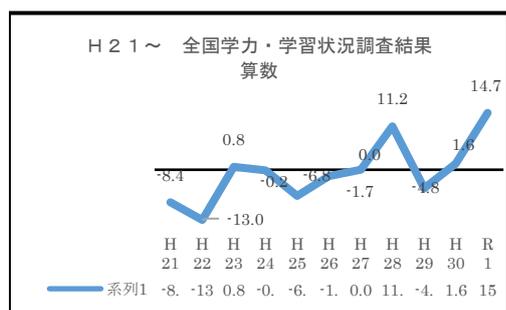
③コミュニケーション

- 校長の教職員個々への日常的な声かけや、隙間時間を活用した「打合せ」を奨励し、「話しやすい、相談しやすい温かい職員室づくり」の風土の醸成に努めた。

④人材育成

- 学校として、「人材育成の手引」や「授業づくりの手引」の作成・共有を図るとともに、校長による教職員のキャリアステージに応じた面談とOJTにより、自己を高める意識の向上に努めた。

2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)



□子どもたちの学習規律が徹底され、算数科の全国学力・学習状況調査結果の平均正答率の上昇がみられたほか、他の教科においても、標準学力テスト等で成果がみられている。

□教職員が共通の目的のもと、協働して指導に当たることにより、子どもたちが生き生きと主体的に活動し、校舎内の整理整頓、感染症対策を呼びかけるなど、自ら実践する姿がみられている。

■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が全学級で温度差なくできるよう、学級経営も含めて、学校全体の取組を徹底する必要がある。